



ツール・ド・九州をアピールする首長ら＝
28日、山口県下関市の下関グランドホテル



国際自転車競技連合が公認する自転車ロードレース「ツール・ド・九州2026」の詳細なコースが28日、公表された。大分県内は10月1日に豊後大野市役所をスタート。原尻の滝(同市)や久住高原(竹田市)など観光名所を通過し、熊本県側へ走り抜ける。九州地域戦略会議が発表した。「大分・熊本ステージ」はフイニッシュの熊本県南阿蘇村役場まで約130キロ

原尻の滝や久住高原通過

10月のツール・ド・九州 大分・熊本ステージの詳細発表

變つ。

大分県内は、豊後大野市清川町の道の駅きよかわ付近に「スマートフォン」を設け、選手たちが全力疾走する白熱した競り合いが見られそう。原尻の滝では、滝の上を渡る道をコースに含めた。

竹田市では城下町を通り抜けた後、久住高原に向かう上り坂へ。佐藤樹一郎知事は「高原の真ただ中を走り、雄大な自然を感じられる」とアピールした。

大会は10月9～12日の日程。9日は長崎県佐世保市でエキシビジョン、10日は「佐賀・福岡ステージ」、12日は「宮崎日南ステージ」でレースがある。



メ
モ

大分県によると、昨年の大会で県内は佐伯市内を通るコースで実施され、約2万8500人の観客が訪れた。県内の経済効果は約8億4千万円だった。



〔問①〕記事の中から答えを見つけて（ ）の中に書きましょう。

（ 10 ）月に開催される「ツール・ド・九州2026」は（ 自転車 ）に乗り、九州のさまざまな場所を走り抜けるレースです。このうち、11日の「（ 大分・熊本 ）ステージ」の距離は約（ 130 ）キロメートルあります。昨年度のレースでは、大分県の（ 佐伯 ）市内がルートとなり、県内の経済効果は（ 8億4千万 ）円でした。

〔問②〕記事の文章や地図を参考に、レースの際に選手たちが通る順番として正しいものを選んでください。

- ア 南阿蘇村役場⇒竹田市の城下町⇒久住高原⇒豊後大野市役所⇒原尻の滝
- イ 竹田市の城下町⇒久住高原⇒豊後大野市役所⇒原尻の滝⇒南阿蘇村役場
- ウ 豊後大野市役所⇒原尻の滝⇒竹田市の城下町⇒久住高原⇒南阿蘇村役場
- エ 豊後大野市役所⇒原尻の滝⇒南阿蘇村役場⇒竹田市の城下町⇒久住高原

〔問③〕記事によると、昨年の大会では大分県内に約2万8500人の観客が訪れ、大きな経済効果が生まれました。このように、大分県内で国際的なスポーツ大会を開催することには、どのような良さ（メリット）があると考えられますか。あなたの考えを書いてください。

世界や全国からたくさんの観客が来ることで、大分県の美しい自然や観光地を多くの人に知ってもらえる良さがある。

多くの人が大分県を訪れて食事やお土産、宿泊などでお金を使うため、地域の建物の利用やお店の売り上げが増えて、地域が元気になるという良さがある。